

2016. 7
14号

わかたけ

社会福祉法人 幸府福祉会
http://sai fu-fukushikai.com
法人本部事務局
福岡県太宰府市大佐野 761-1
発行責任者：草本武俊
編集：広報委員会



「つながり」を大切に

平成 27 年度 社会福祉法人幸府福祉会 事業報告書

平成 27 年度は、「中期経営計画」の初年度の実行計画スケジュールに基づき、事業推進に取り組んできました。各事業において計画実行の進捗状況を 10 月、中間評価の実施により確認し、計画的に各事業の取り組みが進むように努めました。

各事業の取り組みとしては、21 の重点実施項目について、経営職・管理職を責任者として、法人本部の事業、委員会・部会の活動及び各施設・事業所の事業として、法人全体の事業として取り組みました。これらの事業の中でも、特に今年度は、「仕組みづくり」と「職員育成」に力を入れて取り組んできました。これまでの経営改革の取り組みから、法人経営の大体の枠組みは見えてきましたので、次年度以降については、各事業の「質」を重視した取り組みをしていきます。

平成 27 年度 社会福祉法人幸府福祉会 決算報告

収支計算書

(自)平成 27 年 4 月 1 日 (至)平成 28 年 3 月 31 日
(単位：円)

資金収支計算書		
	勘定科目	合計
事業活動による収支	事業活動収入計	642,145,817
	事業活動支出計	537,993,246
	事業活動資金収支差額	104,152,571
施設整備等による収支	施設整備等収入計	1,260,000
	施設整備等支出計	20,791,223
	施設整備等資金収支差額	△19,531,223
その他の活動による収支	その他の活動収入計	32,213,123
	その他の活動支出計	304,250,000
	その他の活動資金収支差額	△272,036,877
予備費支出		0
当期資金収支差額合計		△187,415,529
前期末支払資金残高		573,832,186
当期末支払資金残高		386,416,657

事業活動収支計算書		
	勘定科目	合計
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	629,362,692
	サービス活動費用計	554,055,682
	サービス活動増減差額	75,307,010
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	12,783,125
	サービス活動外費用計	5,508,376
	サービス活動外増減差額	7,274,749
経常増減差額		82,581,759
特別増減の部	特別収益計	1,260,000
	特別費用計	6,494,320
	特別増減差額	△5,234,320
当期活動増減差額		77,347,439
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	763,101,061
	当期末繰越活動増減差額	840,448,500
	その他の積立金取崩額	32,213,123
	その他の積立金積立額	304,250,000
次期繰越活動増減差額		568,411,623

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	434,567,343	流動負債	51,816,150
固定資産	1,129,174,902	固定負債	56,337,000
基本財産	612,213,270	負債の部合計	108,153,150
その他の固定資産	516,961,632	純資産の部	
		基本金	126,888,468
		国庫補助金等特別積立金	280,202,127
		その他の積立金	480,086,877
		次期繰越活動増減差額	568,411,623
		純資産の部合計	1,455,589,095
資産の部合計	1,563,742,245	負債及び純資産の部合計	1,563,742,245

平成 27 年度 社会福祉法人 幸府福祉会 苦情状況報告

【状況報告期間：平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日】

N0.	施設名	受付日付	申込者 受付方法	申し入れ内容	改善結果及び回答
1	障害者支援施設 幸府園	H27 年 6 月 9 日	入所者本人 面接	他の入所者が廊下等で道を譲ろうとせず、ぶつかっても謝らないため、再三にわたって職員に訴えたが、その利用者には話(注意)をしてくれない。	利用者間の話し合いをもち、ぶつかった利用者から訴えていた利用者へ謝罪があり解決いたしました。利用者の方の訴えに対して、職員の迅速な対応を行います。



理事長 草本 武俊

当法人は昭和五十三年に障がい者施設を開園以来、障がい福祉の推進に取り組んできました。現在、入所施設をはじめ障がい児者の日中活動・療育事業やグループホーム、その他、相談支援や訪問介護などの地域生活支援事業から、障がい者雇用の地域貢献活動の公益事業を行うなど、長年、障がい福祉分野で地域とともに歩んできました。

平成十二年、福祉対象者の増加とニーズの多様化、人権確保などを背景にして、社会福祉制度全般を見直すために社会福祉基礎構造改革が実施されました。この年、社会福祉法の改正と合わせて高齢者分野では介護保険が導入されました。

障がい分野では、平成十五年に、支援費制度が導入され、これまでの措置制度から、利用者自らサービスを選ぶ契約制度へと大きな転換がなされました。

この社会福祉法人制度改革の施行は平成二十九年四月としていきますので、当法人も今年度事業に組み込んでその対応をすることとしております。今後の具体的な対応としては、当法人の事業継続のための資金計画を行い、近い時期のすみれ園建て替え計画とやまもの十八年目の修繕を実施することとしていきます。また、障がいの重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えたグループホームの整備を含む地域生活支援拠点等の整備を検討し、何とか実現したいと考えています。公益的な事業の取り組み及び新しいニーズの対応については、地域の様々な資源とネットワークの中で、生活困難等の複合的なニーズや主観的困難にも柔軟に対応するソーシャルワークを実践していきたいと考えています。そして、より以上に地域に貢献していきたいと考えています。

平成十八年には利用者数の増大や財源問題などから支援費制度が廃止され障害者自立支援法が実施されましたが、この制度も問題点が多く指摘され、平成二十五年には、障がいの範囲に難病の追加、障害支援区分の創設、対象者への支援の拡充など、制度改正され、名称も「障害者総合支援法」となり施行されました。

このような様々な制度改革に対して、当法人もその都度、必要な対応は進めてきましたが、平成二十年、当法人が社会福祉法人として今後、地域社会の期待に応え、法人としての役割や使命をしっかりと果たしていくためには、どのように経営をし、どう事業運営をしていけばよいか、この問いに答えていくには、法人全般について、抜本的に見直し、職員の意識改革や組織改革などを進めていく必要があると考え、経営改革の取り組みを始めた。

この経営改革の今日までの取り組みとしては、まず、全職員の目指す方向性やその実現の仕組みづくりなどの前提となる基本理念・事業方針などを明確化しました。

地域交流・行事

宰府園

五月十八日(水)・二十五日(水)、ゆめタウン筑紫野(シヨップング)に行ってきました。今回は二日間に分かれ、利用者の皆さんと職員と一緒に、食事や買物を楽しみました。



(就労支援員 内村 尚美)

やまもも

平成二十八年五月二十三日(月)、地域の方の厚意により利用者五名と職員三名で田植え体験をさせていただきました。田植えは機械を使わず昔ながらの手植えで、皆さん泥まみれになりながら、慣れない手つきで一生涯懸命頑張っていました。秋には稲刈り体験を行う予定です。自分たちが植えた苗が無事に育ちますようにと祈りながら、秋を待ちたいと思います。



(生活支援員 石橋 由里子)

した。次に法人内外の現状分析と経営課題の把握により「運営から経営への転換推進」として整理し、改善の狙いと改善策を作成しました。

これを基に、本部機能・スタッフの充実による本部体制の強化と本部棟の整備、全法人職員研修体系の設定と充実、人事・給与規程等の再構築、情報インフラ・業務効率化の推進、中期経営計画の策定と実施など、遅々としたものですが、ビジョン実現の希望をもって今日まで取り組んできたところです。

このような状況の中、この三月末、「社会福祉法等の一部を改正する法律」がこのたび成立し、社会福祉法人制度が大きく変わることになりました。社会福祉法人が「公益性」を発揮し、その使命を果たし、地域社会に貢献するということがあらためて問われることになりました。当法人としても更に経営改革を進めるとともに、この制度改革の対応を施行期日まで行わなければなりません。今回の法改正(社会福祉法人制度改革)の背景は、今日の少子高齢化、独

すみれ園

五月二十五日(水)に四月、五月生まれの園児さん五名の誕生会を行いました。職員(劇団スミレ)によるオリジナル劇「いちくんにーくん・さんちゃん」を披露し、園児たちは先生やお母さんにしがみついたり、見入ったりしていました。とても楽しい雰囲気の中で、流れみんな笑顔になりました。



(保育士 黒木 綾菜)

ゆりの工房

五月十四日(土)、十五日(日)に春日市総合スポーツセンターでスシヤルオリンピック日本の全国卓球競技会が開催され、ゆり工房でパンなどの販売をさせていただきました。全国大会と一言うてもあり、全国からたくさんの方が参加され、お陰様で、パンや焼き菓子、は完売と大盛況でした。



(職業指導員 村越 信夫)

一般職員研修会

五月二十八日(土)、法人本部研修室において、平成二十八年年度一般職(正職員)研修が開催されました。今回の研修では、チームワークとリーダーシップをテーマとして、理事長講義や九州経営の河津様・当法人評議員の松尾様の講演をしていただきました。グループ討議では事例検討を通して活発に意見発表が行われ、有意義な研修を行うことができました。



平成28年度一般職(正職員)研修会

各委員会・部会スタート

新年度となり宰府福祉会の各委員会・部会が新しいメンバーでスタートしました。各委員会・部会での検討したことや実施したことをしっかりと利用者支援に繋げていきたいと思

- ・ 広報委員会 (安川委員長)
- ・ リスクマネージメント委員会(木原委員長)
- ・ サービス向上委員会 (栗田委員長)
- ・ 権利擁護委員会 (大場委員長)
- ・ 研修委員会 (阪井委員長)
- ・ 生産・販売等活動部会 (栗山部会長)
- ・ 地域生活支援部会 (大内田部会長)